

武蔵村山市第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和2年度末に
おける進捗状況及び地方創生関連交付金活用事業の実施結果について

武蔵村山市第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和2年度末における進捗状況及び地方版総合戦略に位置付けられた自主的・主体的で先導的な事業の円滑な実施を支援することを目的とした国の交付金である地方創生関連交付金を活用して令和2年度に実施した事業の実施結果について、別添資料のとおりお知らせします。

(添付資料)

- 資料1 第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略実績報告書(令和2年度)【概要】
- 資料2 第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略実績報告書(令和2年度)
- 資料3 平成28年度 地方創生拠点整備交付金(令和2年度実施)に係る事業
実施結果報告

第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略実績報告書(令和2年度)【概要】

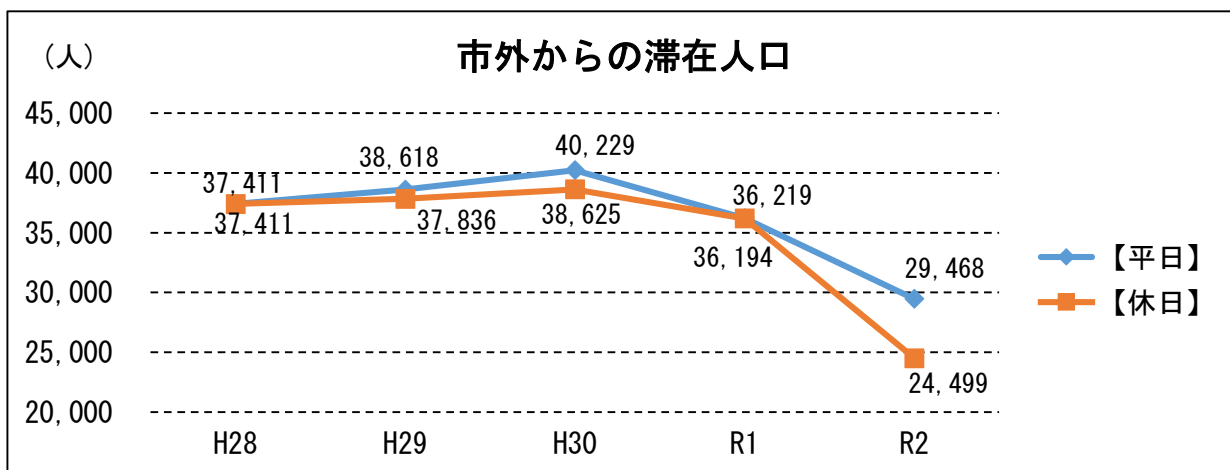
【基本目標 1 まちの魅力を向上させ、新たなひとの流れをつくる】

1 数値目標

指標	評価
市外からの平日の滞在人口	×
市外からの休日の滞在人口	×

【指標の評価について】

- ◎：目標値達成
- ：現況値を上回っている
- △：現況値と同等の数値
- ×：現況値を下回っている
- ：数値が判明していない
- ※ 現況値：平成 30 年度



2 具体的施策（7施策 25事業）

施策	重要業績指標 (KPI)	評価					
		主要要因 (CSF)					
		◎	○	△	×	—	計
戦略的な情報発信	◎	1	2	0	1	0	4
創業を希望している市民への支援	○	0	0	1	1	0	2
産業の振興と雇用の促進	○	0	1	1	2	1	5
時代のニーズに対応する農業の創造	○	0	2	2	0	0	4
個性豊かな観光施策の推進	×	1	3	1	0	2	7
利便性の高い公共交通網の形成	×	0	1	0	0	0	1
にぎわいと活力ある魅力的なまち・まちづくり	○	0	2	0	0	0	2
合計	—	2	11	5	4	3	25

3 総論

【総括】

- 交流人口の増加の視点から施策を展開している。
- 数値目標に掲げる「滞在人口」については、新型コロナウイルス感染症の影響で数値が減少している。
- 現況値と比較すると、半数以上の事業が現況値を上回っている。

【施策別】

- 「戦略的な情報発信」については、新型コロナウイルス感染症関連の情報発信を行っていたため、KPIの目標値を達成するとともに、現況値を上回った事業が多い。
- 「創業を希望している市民への支援」については、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが開催できない等の理由で現況値を上回る事業はなかった。
- 「産業の振興と雇用の促進」については、現況値を上回る事業は1事業のみであった。
また、令和2年度には、市内全体の産業振興等を計画的に進めるため、産業振興ビジョンの策定に向け検討を始め、令和3年度に策定する予定である。
- 「時代のニーズに対応する農業の創造」については、現況値を下回る事業はなかった。
- 「個性豊かな観光施策の推進」については、イベントの中止やかたくりの湯の休館・時短営業など新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、KPIの実績値が現況値を下回った。
- 「利便性の高い公共交通網の形成」については、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、KPIの実績値が現況値を下回った。
- 「にぎわいと活力ある魅力的なみち・まちづくり」については、全ての事業で現況値を上回っている。

4 外部有識者（まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会）からの意見

- 多くの方がLINEを利用しているため、LINEの活用を検討いただきたい。
- SNSやYouTubeを活用いただきたい。
- 創業希望者の中では空き店舗や空き家などの物件を探してほしいとの声が多くあるため、創業したい方が空き店舗等を活用できる仕組みを作れば、空き店舗活性化事業になると思う。
- 他自治体では、空き店舗リストを作成している事例もあるので、そういった仕組みづくりを行うか、若しくはNPOや市民団体を立ち上げる方法もあるので、検討いただきたい。
- 地域ブランド認証事業のコンセプトとイメージについて、共通認識を持つため、見える化した方が市民への訴求効果も高いと思うのでお願いしたい。
- 体験型市民農園について、課題に記載のある農業者の理解を得ることが難しいとあるが、農業者に対するインセンティブがないと感じるため、目標達成は困難である。

【基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える】

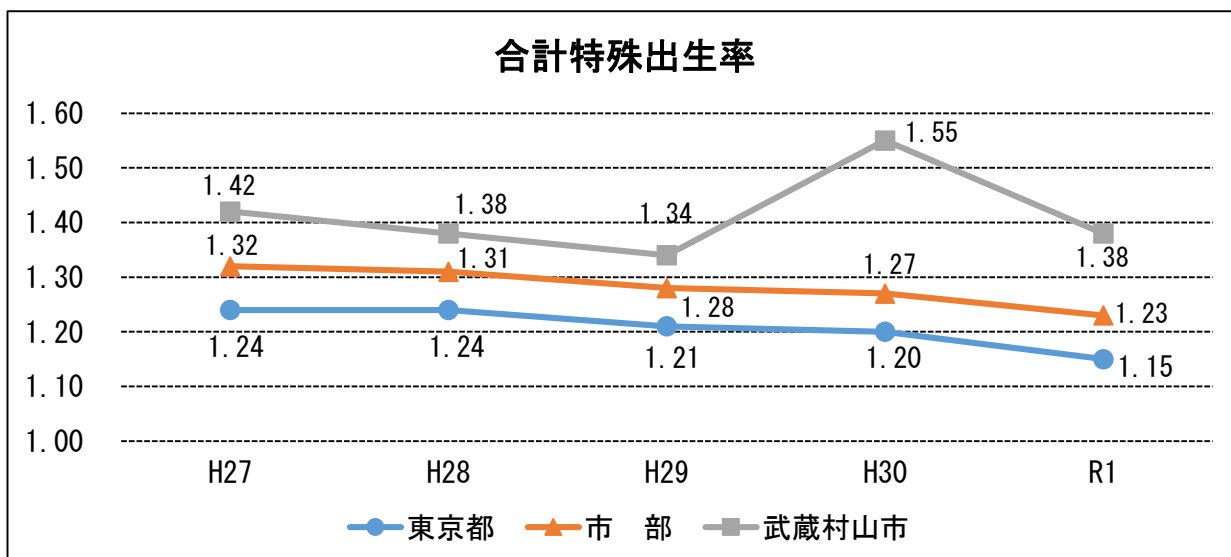
1 数値目標

指標	評価
合計特殊出生率 (令和元年度：1.38)	— (×)
「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思う」人の割合	—

【指標の評価について】

- ◎：目標値達成
- ：現況値を上回っている
- △：現況値と同等の数値
- ×：現況値を下回っている
- ：数値が判明していない
- ※ 現況値：平成30年度

※ 合計特殊出生率については、例年、冬頃、区市町村別の数値が公表される。そのため、() 内の実績値は前年度の数値である。



2 具体的施策（4施策20事業）

施策	評価						
	重要業績指標 (K P I)	主要要因 (C S F)					計
		◎	○	△	×	—	
結婚・妊娠・出産・子育てへの支援	○	3	2	2	1	0	8
子育てしやすいまちづくり	—	1	1	1	2	1	6
子どもの知力・体力の向上	◎	0	0	0	1	3	4
教育環境の整備	×	0	0	0	2	0	2
合 計	—	4	3	3	6	4	20

3 総論

【総括】

- 年少人口及び将来的な生産年齢人口の増加を図る視点から施策を展開している。
- 数値目標に掲げる「合計特殊出生率」については、現況値と比較すると減少しているが、49区市で2番目の数値である。(令和元年度実績)
- 数値目標に掲げる「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思う」については、計画策定時のアンケート調査項目であり、令和2年度はアンケート調査を実施していない。
- 現況値と比較すると、多くの事業が現況値と同等又は下回っている。

【施策別】

- 「結婚・妊娠・出産・子育てへの支援」については、新型コロナウイルス感染症の影響下でも多様な保育サービスを継続し、約半数の事業が現況値を上回っている。
- 「子育てしやすいまちづくり」については、KPIが計画策定時のアンケート調査項目であり、令和2年度はアンケート調査を実施していないため、数値が不明である。
また、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが中止となる等の理由で現況値を下回る事業もあった。
- 「子どもの知力・体力の向上」については、KPIが目標値を達成した。
その他事業については、新型コロナウイルス感染症の影響で学力調査や体力テストが中止となり、数値の算出ができなかった。
- 「教育環境の整備」については、新型コロナウイルス感染症の影響等で全ての事業において、現況値を下回った。

4 外部有識者（まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会）からの意見

- ハグはぐ・むらやまの取組について、非常に良い取組であると思う。目標も達成しているため、積極的に周知していただきたい。
- 市役所男性職員の育児休業取得率の向上について、現況値と比較し、数値が向上しているため、非常に良かったと思う。
- 地域活動を行える場がもう少し増えると良いと思う。
- 様々な分野で空き家の活用は検討されているため、空き家バンクなど市で前向きに取り組めると良いと考える。
- 行政側から貧困家庭の支援を必要とする対象者情報を提供することは難しいため、民生委員や地域包括支援センターなど地域で活躍する方々の情報の活用や届けてもらうような取組が必要である。
子ども食堂については、まちの食堂として実施していたり、子ども限定や貧困の子ども限定など様々な実施形態があるが、限定してしまうとフードバンク同様、周りの目を気にして行けないということがあるのかもしれないため、限定しない取組や周りから見られない仕掛けが必要であると考えます。
- 行政と地域の団体や方々と連携し、貧困家庭の支援ができると良い。
- 絵本の読み聞かせ事業についても、オンラインなどを検討すると良いと考える。

【基本目標3 誰もが安心して暮らし続けられる地域をつくる】

1 数値目標

指標	評価
これからも本市に住み続けた と思う人の割合	—
20歳代の転出者割合	×

指標の評価について

◎：目標値達成

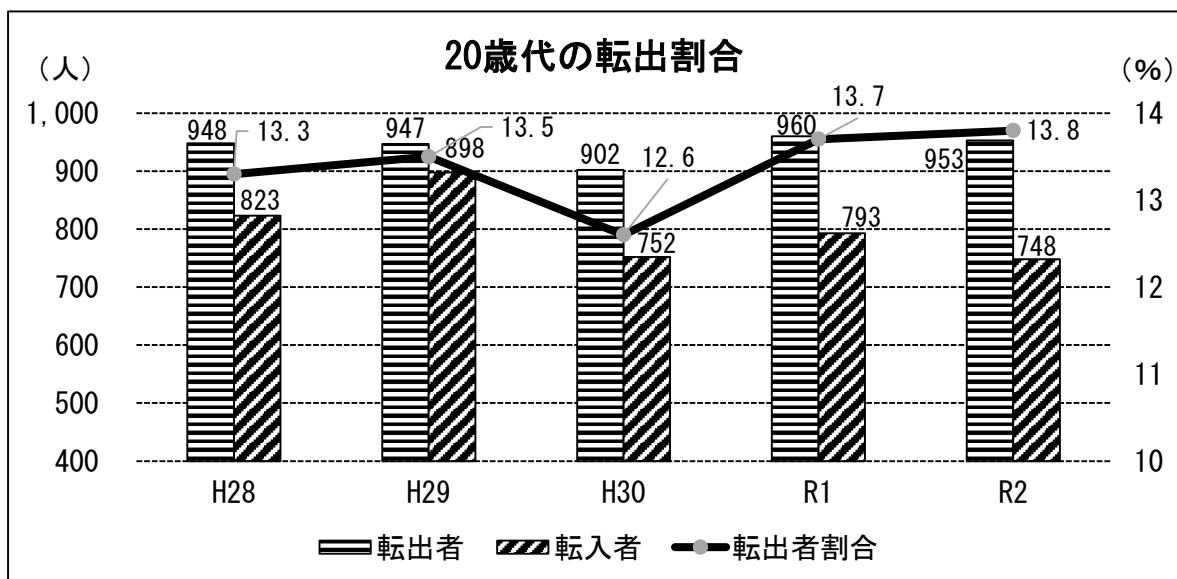
○：現況値を上回っている

△：現況値と同等の数値

×：現況値を下回っている

—：数値が判明していない

※ 現況値：平成30年度



2 具体的施策（3施策14事業）

施策	重要業績指標 (KPI)	評価					
		主要要因 (CSF)					計
		◎	○	△	×	—	
交通利便性や買い物環境の向上に向けたまちづくり	—	0	0	0	2	0	2
安心して暮らせるまちづくり	◎	1	1	0	0	0	2
健康でいきいきと暮らせるまちづくり	○	1	5	0	4	0	10
合計	—	2	6	0	6	0	14

3 総論

【総括】

- 「住み続けたい」と思うまちづくりを進める視点から施策を展開している。
- 数値目標に掲げる「これからも本市に住み続けたいと思う人の割合」については、計画策定時のアンケート調査項目であり、令和2年度はアンケート調査を実施していない。
- 数値目標に掲げる「20歳代の転出者割合」については、転出者が増加し、転出者割合も増加した。
- 現況値と比較すると、半数以上の事業が現況値を上回っている。

【施策別】

- 「交通利便性や買い物環境の向上に向けたまちづくり」については、KPIが計画策定時のアンケート調査項目であり、令和2年度はアンケート調査を実施していないため、数値が不明である。
また、新型コロナウイルス感染症の影響等で全ての事業で現況値を下回った。
- 「安心して暮らせるまちづくり」については、防災対策を計画的に行ったため、KPIの目標値を達成するとともに、全ての事業で現況値を上回った。
- 「健康でいきいきと暮らせるまちづくり」については、約半数の事業が新型コロナウイルス感染症の影響等で現況値を下回った。
また、現況値が未実施の事業については、いずれも事業実施に向けて準備が進んでいる。

4 外部有識者（まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会）からの意見

- 市内循環バス運行ルートの見直しについて、費用対効果のこともあるので、基本的には賛成である。廃止路線の地域であるが、乗合タクシーの利用ができるようになるので、地域の人にとってはメリットの方が大きいと感じている。
市外の方が廃止路線の地域に来ることが難しくなるため、地域活性化は難しくなるかもしれない。
- お互いさまサロンについては、新型コロナウイルス感染症の影響下でも設置数が増えていている。地域ではニーズがあると思うし、介護予防、高齢者の健康づくりに力を入れているのがうかがえた。
- 防災士資格取得助成事業について、資格取得後に市の防災イベントや訓練でリーダーをもらうなど仕組みづくりがないと取得希望者は増えないと考える。
- 地域生活支援拠点等整備事業について、保護者が入院した場合等、グループホームでは短期の受入れをしてもらえない。ショートステイ施設もあるが、なかなか入ることができない状況である。短期の受入れの取組は必要であると感じているため、ぜひ御検討いただきたい。
- シルバー人材センターについて、会員数を増やしていく方向のようであるが、企業の定年退職後の雇用については、企業の方で受け皿が増えてきているため、シルバー人材センターの会員数を増やす必要がないと思っている。シルバー人材センター設立時よりも必要性が薄れてきていると感じており、企業や団体が高齢者を受け入れる体制が整うことが一番望ましいと考えている。
- 会員数については増やしていく必要があると考える。70歳を超えると企業での雇用も終わってしまうが、それ以降も働きたい方もいると思う。また、シルバー人材センターだからやっていただけのこともあるので、ありがたい存在である。

第二期

まち・ひと・しごと創生総合戦略

実績報告書（令和2年度）

目次

基本目標 1	まちの魅力を上向きさせ、新たなひとの流れをつくる	1
(1)	戦略的な情報発信	1
(2)	創業を希望している市民への支援	3
(3)	産業の振興と雇用の促進	4
(4)	時代のニーズに対応する農業の創造	7
(5)	個性豊かな観光施策の推進	10
(6)	利便性の高い公共交通網の形成	14
(7)	にぎわいと活力ある魅力的なまち・まちづくり	15
基本目標 2	若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える	16
(1)	結婚・妊娠・子育てへの支援	17
(2)	子育てしやすいまちづくり	21
(3)	子どもの知力・体力の向上	25
(4)	教育環境の整備	27
基本目標 3	誰もが安心して暮らし続けられる地域をつくる	28
(1)	交通利便性や買い物環境の向上に向けたまちづくり	29
(2)	安心して暮らせるまちづくり	30
(3)	健康でいきいきと暮らせるまちづくり	32
参考資料		
(1)	第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業 進捗状況一覧	41

【留意事項】

<指標について>

KPI：Key Performance Indicator の略称。客観的な重要業績評価指標のことです。
CSF：Critical Success Factor の略称。主要要因と訳され、目標達成に大きく影響する事業のことです。

<指標の評価について>

- 現況値（平成 30 年度実績）と当該年度の実績を比較しています。
- 評価については、以下の 5 段階で実施しています。
 - ① ◎：目標値達成
 - ② ○：現況値を上回っている
 - ③ △：現況値と同等の数値
 - ④ ×：現況値を下回っている
 - ⑤ -：数値が判明していない

<再掲事業について>

- 総合戦略内で【再掲】と記載されている事業については、省略しています。

基本目標 1 まちの魅力を向上させ、新たなひとの流れをつくる

数値目標

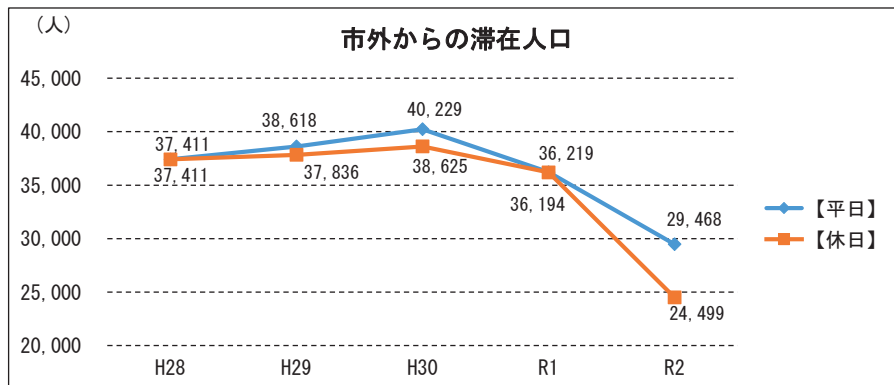
指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
市外からの平日の滞在人口	16,660 人	12,640 人	17,493 人	×
市外からの休日の滞在人口	16,951 人	11,553 人	17,799 人	×

目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)

新型コロナウイルス感染症の影響や感染防止対策により、人の流れが抑制されているため、市外からの滞在人口は減少している。
今後も、国や東京都等の新型コロナウイルス感染症対策に大きく左右される可能性が高い。

課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等

国や東京都の新型コロナウイルス感染症対策を注視し、市としても新型コロナウイルス感染症対策に努めていく。また、人を呼び込む市の施策については、新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、実施の可否を判断していく。



※ 2014年の数値は9月から12月までの平均値

※ 2020年の数値は1月から6月までの平均値

具体的施策

(1) 戦略的な情報発信

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F					
K P I	市ホームページアクセス数 (トップページ)	276,230 件/年	664,850 件/年	500,000 件/年	◎

施策の概要

「担当課だけでなく全庁で取り組む広報」、「情報を分かりやすく発信する広報」、「必要とする人が見つけやすい広報」という広報戦略の3つの柱に基づき、市の魅力を効果的に周知する。

令和2年度の主な取組内容・実績

- 市からの情報発信を迅速に行うため、各関係部署と連携した情報発信の実施
- 多言語化を推進するため、自動翻訳にタガログ語を追加
- わかりやすい情報発信のための庁内研修を実施

目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)

新型コロナウイルス感染症の影響で市ホームページへのアクセスが増加した。
今後も引き続き災害情報や魅力の発信など適切なホームページ運用に努めていく。

課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等

引き続き広報戦略に基づいた取組を推進するとともに、広報戦略に記載のある取組について、各課に周知を図り、より効果的な広報を目指す。

<主な事業とCSF>

①	事業名：市ホームページ情報の充実	事業課：秘書広報課
事業の概要		
重要な情報発信媒体である市ホームページについて、より一層アクセシビリティに配慮するとともに、トップページから利用者が求める情報にたどり着きやすくなるよう情報を整理し、トップページのカルーセルバナー等で発信する情報を充実させる。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○新型コロナウイルス感染症の影響で各種支援策や緊急事態宣言のお知らせ等を充実 そのため、イベント情報ではなく、現在の状況や支援策の紹介が短時間で複数掲載された。 ○多言語化を推進するため、自動翻訳にタガログ語を追加		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
引き続き、分かりやすい情報発信を心掛け、カルーセルバナーの更新を行っていく。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
令和3年度以降も、新型コロナウイルス感染症に関する各種支援策やイベント情報などを発信するために、各部署と連携を取って情報発信を行っていく。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	カルーセルバナーに掲載するページ数	18 ページ	30 ページ	30 ページ	◎

②	事業名：SNS等による広報手段の充実	事業課：秘書広報課
事業の概要		
市政情報の効果的な周知を図るため、引き続きソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を活用し、定期発信の情報ではなく、リアルタイムの情報発信に努める。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○SNSを活用した情報発信		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
新型コロナウイルス感染症の影響で各種イベントが中止となり、市のTwitter等への投稿件数が減少するとともに、リツイート数も減少した。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
きめ細やかな情報発信に努め、市の投稿を増やし、「リツイート」や「いいね！」を獲得できるよう努めていく。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	「#MM教え隊」市以外からのSNS発信数	409 回/年	346 回/年	600 回/年	×
CSF	市公式ツイッター「リツイート」数	未実施	629 件/年	1,200 件/年	○
CSF	市公式フェイスブック「いいね！」件数	817 件/年	941 件/年	1,200 件/年	○

(2) 創業を希望している市民への支援

<重要業績評価指標（KPI）>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
KPI	創業支援制度を利用した創業者数	2人/年	3人/年	21人/年	○

施策の概要

創業支援事業計画に基づく特定創業支援事業（創業塾、創業セミナー、創業交流会及び個別相談）を実施し、市内での創業を希望する者の支援を行う。

令和2年度の主な取組内容・実績

○むらやま創業塾「ゆめ」：参加者6人（全5回）
 ○むらやま創業セミナー「みらい」：参加者30人（全4回）
 ○個別相談：参加者14人

目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など）

市内の創業希望者や創業に興味のある方の更なる発掘方法を検討する必要がある。

課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等

各種支援事業の内容については、過去の参加者数やアンケート等を参考に、より参加者が求めている内容となるよう改善に努めていく。

<主な事業とCSF>

①	事業名：ウィメンズチャレンジプロジェクト	事業課：協働推進課
事業の概要		
働きたい女性の自分らしい働き方へのチャレンジについて、総合的に支援を行うことを目的として、セミナー等を開催し、女性の活躍の機運を高める。 また、地域で活躍する女性のネットワークを構築し、企業、地域及び社会への女性の参画を促進する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○起業講座の開催：6回（うち、オンライン開催4回） また、講座とは別に起業パネルディスカッションを1回実施（オンライン・会場） ○「プチ企業フェスタ」：新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など）		
新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者が多いプチ起業フェスタの開催ができず、目標値に達することができなかったため、コロナ禍の状況でも参加可能な開催方法を検討していく必要がある。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、引き続き起業支援、相談会や講座等による再就職支援を行っていく。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	セミナー参加者数	705人/年	84人/年	750人/年	×

②	事業名：空き店舗活性化事業への支援	事業課：産業観光課
事業の概要		
商店会活動への支援及び地域経済の活性化のため、空き店舗等を活用した事業の推進を図る。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○商店会に対して、空き店舗を活用した東京都の補助制度を案内		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
東京都の補助制度については、事業開始から3年間となっており、補助金終了後の経費負担を考え、利用する商店会はない。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
市独自の支援(補助金等)を検討していく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	空き店舗を活用した事業数	0事業	0事業	2事業	△

(3) 産業の振興と雇用の促進

<重要業績評価指標 (K P I) >

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
K P I	企業誘致制度を活用した企業誘致による新規就業者数	0人	4人	10人	○

施策の概要					
地域産業の振興及び市民の雇用機会の拡大などを図るため、企業誘致条例に基づき、市内の工業地域に事業所を新設又は増設した企業等に対し、奨励金を交付する。					
令和2年度の主な取組内容・実績					
○企業誘致奨励交付金の交付：1件					
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)					
移転希望のある市外事業所への広報の方法が課題である。					
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等					
引き続き金融機関や不動産業者等との連携強化を図っていく。					

<主な事業とCSF>

①	事業名：産業振興ビジョンの策定	事業課：産業観光課
事業の概要		
市内全体の産業振興や近隣自治体と連携した振興策、市内事業者の市外への流出抑止策等の検討を行った上で、それらを計画的に進めるため、産業振興ビジョンを策定する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○市内事業者の状況を把握するとともに、事業等のニーズ、施策に対する意向等及び市民の市政に関する意向等を調査するため、アンケート調査を実施		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
令和3年度中の策定に向け、素案の作成や内部組織である委員会、外部組織である懇談会での素案の精査などを進めている。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
令和2年度に実施したアンケート結果等を踏まえ、産業振興ビジョンの策定に向けて検討を進める。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	産業振興ビジョンの策定	未策定	アンケート調査	策定	○

②	事業名：企業誘致制度の拡充（新青梅街道沿道）	事業課：産業観光課、都市計画課
事業の概要		
拡幅整備が進行中の新青梅街道沿道への企業誘致制度の拡充について、対象地域の都市計画を踏まえながら検討を進める。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○対象とする区域や業種等を検討するうえで、必要な情報収集等を実施		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
企業誘致制度の拡充について、対象とする区域や業種等を検討する必要がある。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
引き続き、新青梅街道沿道地区まちづくり計画の推進状況を勘案しながら、検討を進める。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	企業誘致制度の対象拡大	検討	検討	検討終了	△

③	事業名：工業地域における道路整備の推進	事業課：産業観光課、都市計画課、道路下水道課
事業の概要		
地域経済の活性化と市民の雇用機会の拡大を図るため、伊奈平地区の工業地域の基盤整備を推進し、企業誘致の促進を図る。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○工業地域の基盤整備の在り方について検討 (現在、策定中の産業振興ビジョンのアンケート調査など)		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
道路の拡幅については、多額の買収及び築造費用が必要となるため、新型コロナウイルス感染症の流行等に伴う市の財政状況に強く影響される。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
令和2年度に実施したアンケート結果等を踏まえ、産業振興ビジョンの策定に向けて検討を進める。		

K P I	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	事業の推進	未実施	未実施	検討	—

④	事業名：地域ブランド認証事業	事業課：産業観光課
事業の概要		
本市の地域ブランドとして、市内の魅力ある商品等を認証し、広く他の地域に発信するとともに、地域ブランドに誰もがわかりやすいコンセプトを持たせ、より明確なイメージ作りを推進し、本市の活性化と魅力の向上を図る。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○制度及び認証商品について、ホームページや市報等を活用し広報活動を実施		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
認証ブランドになったことによるメリットが少ないため、認証されたことによる優位性等を明確にする必要がある。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
制度のPRを強化していくほか、認証店同士のコラボレーション商品等について、推奨していく。		

K P I	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	ブランド認証商品数	11品目	10品目	15品目	×

⑤	事業名：村山大島紬の振興	事業課：産業観光課
事業の概要		
伝統的工芸品産業である村山大島紬の周知に努めるとともに、村山織物協同組合が行う宣伝活動事業や後継者育成への取組について支援を行い、少数化した生産業者への直接支援について検討を行う。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○織物協同組合が行う宣伝事業に対し補助金を交付 ○ホームページにて、村山大島紬について周知		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年行っている小学校での体験教室を実施できなかった。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
コロナ禍において、より効果的な宣伝活動の方法を検討していく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	体験イベントへの参加者数 及び見学者数	251人	92人	300人	×

(4) 時代のニーズに対応する農業の創造

<重要業績評価指標 (K P I) >

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
K P I	新規就農者数の累計	1人	3人	6人	○

施策の概要					
農業の新たな担い手を確保するとともに、農業に新規参入する農業者へ様々な支援を行うことにより、安定した農業経営と農業への定着を図る。					
令和2年度の主な取組内容・実績					
○青年等就農計画の認定：1件（新規就農者1名増加）					
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)					
新規就農者については、1年以上の研修を経ないと就農できないため、東京都農林水産振興財団等からの相談・紹介で就農するケースが多い。 このため、市独自で研修機関を持たないと市単独で新規就農者を増加させることはできない。					
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等					
令和4年度に新規就農を予定している研修生について、就農するための必要な補助事業に関する手続や新規就農者として認定する手続等を行っていく。					

<主な事業とCSF>

①	事業名：認定農業者数	事業課：産業観光課
事業の概要		
農業の中心的な担い手となる認定農業者について、メリットを明確にし、農業委員会や各種関係団体を通して制度の普及を推進することにより、認定農業者の拡充を図るとともに、認定農業者の経営改善計画の達成に向け、農産物の増産や施設整備等に対する支援を行う。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○農業経営改善計画に係る個別相談会：新規認定申請者3名、更新認定申請者15名 ○農業経営改善計画の認定：新規認定申請者3名、更新認定申請者14名		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
今後も認定農業者制度の周知や、農業経営改善計画の認定及び計画達成に向けた支援を継続していく。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
農業経営改善計画に係る個別相談会の開催や農業経営改善計画の認定など認定農業者の拡充を図るとともに、施設整備等に対する支援を行っていく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	認定農業者数	39 経営体	40 経営体	45 経営体	○

②	事業名：観光農園の充実	事業課：産業観光課
事業の概要		
みかん狩り等を行うことができる観光農園について、広報紙やホームページを活用した情報発信を行うとともに、「観光農園からかたくりの湯へ」といった観光案内もあわせて発信することにより、近郊からの来訪者の増加を図る。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○みかん狩りのPRを実施（ホームページや案内チラシの配布等）		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
かたくりの湯との連携や観光農園ルートの設定については、第三次農業振興計画でも取組内容として掲げられていることから、今後検討していく。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
今後も市報やホームページを活用したみかん狩り等のPRを行っていく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	観光農園数	10 か所	10 か所	11 か所	△

③	事業名：体験型市民農園の開設	事業課：産業観光課
事業の概要		
市民が農業にふれあう機会の創出と良好な都市農地の保全を図るため、農作業の未経験な市民でも気軽に農業体験ができるよう、農園主が自ら農作業の指導を行う体験型市民農園の拡充を図る。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
〇市南西部の農地を調査し、開設可能な農地の抽出作業を実施		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
体験型市民農園は、農業者が指導しながら農業体験をしていただくので、農業者の負担が大きく、農業者の理解を得ることが難しい。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
抽出した農地の現地調査を行い、開設可能な農地の所有者に協力を依頼する。 また、開設に向けた具体的な整備内容を検討し、予算化していく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	体験型市民農園数	2か所	2か所	3か所	△

④	事業名：援農ボランティア制度	事業課：産業観光課
事業の概要		
農作業を通じて市民が農業にふれあう機会を創出するため、また、人手が不足している農業者を支援するため、援農ボランティア制度により農作業の効率化を図る。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
〇援農ボランティア制度登録：3名 〇農業者へ派遣：3名		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
受入農家数が減少しているとともに、登録したが、様々な事情で援農ボランティアに参加できない方もいる。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
今後も市報等でボランティアの募集の案内を行いつつ、体験型市民農園の利用者にもボランティア制度の案内を行い、ボランティア登録者の増加を目指す。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	援農ボランティアの登録者数	13人	17人	25人	○

(5) 個性豊かな観光施策の推進

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
KPI	村山温泉「かたくりの湯」の入場者数	158,958人/年	68,139人/年	203,000人/年	×

施策の概要

温泉資源を活用することにより、市民の健康を維持増進するとともに、多世代間の交流を促進し、併せて観光の振興を図り、もっていきいきとした地域社会の形成に資する。

令和2年度の主な取組内容・実績

○新型コロナウイルス感染症の影響により休館（令和2年4月4～5日、4月9日～7月7日）
○新型コロナウイルス感染症対策をした上で時短営業で開館
（プール施設の脱水機の使用禁止、サウナの使用禁止、ロッカーの間引き使用等の対策など）

目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など）

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から国の緊急事態宣言等により時短営業や休館しなければならない状況である。

課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図りながら安全な施設運営を行う。
また、通常営業になった場合は、各種イベントの開催、自主事業の充実等を図り、来館者の増加を目指す。

<主な事業とCSF>

①	事業名：村山温泉「かたくりの湯」周辺を核とした交流エリアの形成	事業課：産業観光課
事業の概要		
村山温泉「かたくりの湯」を核とする狭山丘陵を散策し、温泉につかり、地元産の食材を使った食事を楽しみながら交流を図れるような観光ルートを設定する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○既存の観光ルートのPR		
目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など）		
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、不要不急の外出が制限され、市民等は自由に狭山丘陵を散策する等の余暇を楽しむことが規制され出来なかった。 新たな観光ルートの設定については今後の課題である。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
新型コロナウイルス感染症が収束し余暇を楽しめる時期が来るまでは既存の観光ルートを活用していく。また、新たな観光ルートの設定については、新型コロナウイルス感染症の状況等に注視しながら、検討していく。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	観光ルート（広域含む）の設定	未設定	2ルート	5ルート	○

②	事業名：観光マップの作成	事業課：産業観光課
事業の概要		
当市に来訪する外国人向けに多言語化した観光マップを作成し、外国人にも当市の魅力を発信する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○新型コロナウイルス感染症の影響で各種イベントが中止となったため、観光マップの作成・多言語化は出来なかった。		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
観光事業については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けやすいため、事業実施が困難な場合がある。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
目標は達成しているが、今後も外国人へ向けた魅力発信のため、多言語化に努めていく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	観光マップの多言語化	未実施	検討	実施	○

③	事業名：武蔵村山魅力マイスターの活動	事業課：産業観光課
事業の概要		
観光資源の効果的な周知を図るため、「武蔵村山魅力マイスター」(本市の魅力を伝える技をもつ匠や伝承する力をもつ人)による体験の提供機会を増やし、「武蔵村山魅力教え隊」の活用とあわせて活動の促進を図る。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○武蔵村山観光まちづくり協会へ事務移管 ○武蔵村山観光まちづくり協会と連携した広報活動などを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
観光事業については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けやすいため、事業実施が困難な場合がある。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
武蔵村山観光まちづくり協会と連携し、マイスターの登録人数の増加を目指すとともに、活動を推進していく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	登録人数	25人	25人	35人	△

④	事業名：ロケーションサービス	事業課：産業観光課
事業の概要		
本市の魅力を広く発信することによって多くの人に訪れてもらうために、「武蔵村山観光まちづくり協会」により、映画等の撮影場所の誘致や撮影支援を行うロケーションサービスを実施する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
<ul style="list-style-type: none"> ○武蔵村山観光まちづくり協会へ事務移管 ○公共施設の貸出等が円滑に行えるよう調整を実施 		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
ロケーションサービスを開始したが、今後も利用してもらうためには、継続した広報活動が必要である。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
観光まちづくり協会がロケ地コーディネート会社と委託契約を締結し、CM撮影やドラマ撮影、映画撮影のロケーションサービスの増加を目指す。		

K P I	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	受入件数	未実施	6件	50件	○

⑤	事業名：文化財の観光資源としての活用	事業課：文化振興課
事業の概要		
歴史のある神社仏閣などの文化財を観光資源として活用するため、引き続き、文化財を巡る歴史の散策コース周知に努めるとともに、市民参加型でのテーマ別のコース設定などの検討を行い、市内への来訪者の増加を図る。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
<ul style="list-style-type: none"> ○既存の東・西コースを再編（東3コース、西2コース） ○南西・南東コースを新設 ○南西・南東コースの案内標柱の設置を完了 		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
目標に掲げるコースの設定は完了したが、市内への来訪者の増加を図るため、今後も文化財を巡る歴史散策コースの周知に努めていく。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
ホームページ等を活用し、文化財を巡る歴史散策コースの周知に努めていく。		

K P I	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	市民参加による歴史散策コースの設定	2コース	7コース	4コース	◎

⑥	事業名：市民まつり（村山デエダラまつり）の開催	事業課：産業観光課
事業の概要		
市と市民の協働により実施する市民まつりを市と共に主催する武蔵村山市民まつり実行委員会に対し交付金を交付することにより、市民まつりの充実を図り、もって地域の活性化に資する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○武蔵村山市民まつり実行委員会に交付金を交付 (村山デエダラまつりは新型コロナウイルス感染症の影響で中止)		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
次回の市民まつりから会場を榎一丁目市有地へ変更し、まつりの規模を縮小させる。 また、コロナ禍でのまつりの開催方法等を検討する必要がある。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
コロナ禍での開催方法等を検討するとともに、新たな会場でのまつりの在り方を検討していく。		

K P I	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	来場者数	70,000人/年	未開催	80,000人/年	—

⑦	事業名：観光納涼花火大会の開催支援	事業課：産業観光課
事業の概要		
武蔵村山市商工会が開催する観光納涼花火大会に対し観光納涼花火大会交付金を交付することにより、その充実を図り、もって観光事業の振興に寄与する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、交付金の交付も行わなかった。		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
観客数は増加傾向にあるが会場の広さ、観客の安全面等を考慮すると現在以上の観客数は限界との意見もある。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
令和3年度については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況を勘案し中止である。		

K P I	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	会場来場者数	14,000人/年	未開催	15,000人/年	—

(6) 利便性の高い公共交通網の形成

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
KPI	市内循環バス「MMシャトル」路線の1便当たり平均輸送人員	5.61人/年	3.45人/年	6.11人/年	×

施策の概要

公共交通の利便性向上の取組として、路線バスの充実について関係事業者に要請する。
また、まちづくりの整備状況や利用者の声を勘案しながら、関係機関と連携し効率的な運行と利用促進を図る。

令和2年度の主な取組内容・実績

- 公共交通に関する市民アンケート調査等を実施
- 市民アンケート調査の結果を基に、課題の抽出と解決策の検討

目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市内循環バスの利用者数が減少し、目標値を大きく下回った。また、一部ルートにおいて大きく低迷する利用者数の改善等が目標達成への課題となる。

課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等

新型コロナウイルス感染症感染防止対策を行い、運行していく。
また、令和2年度の取組をさらに進め、効率的な運行に向けた路線の再編等について検討していく。

<主な事業とCSF>

①	事業名：多摩都市モノレールの市内延伸の促進	事業課：交通企画・モノレール推進課
事業の概要		
多摩都市モノレールの市内延伸の早期実現に向けて、東大和市及び瑞穂町と共同で策定した「モノレール沿線まちづくり構想」を踏まえたまちづくりを推進するとともに、市と市民が連携した促進活動や東京都などの関係機関への要望活動を行う。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
<ul style="list-style-type: none"> ○要望活動の実施 ○多摩都市モノレール基金積立及び募金活動 ○PR推進事業(モノレール関連物品作製、販売等) 		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
延伸の事業化に当たっては、事業採算性の確保が重要であり、モノレールの利用需要の創出につながるまちづくりのより一層の推進が必要となる。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
引き続き、モノレール延伸の機運醸成のための取組を行っていくとともに、モノレールのまちづくりのあり方を検討していく。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	事業の推進	推進	推進	推進	○

(7) にぎわいと活力のある魅力的なみち・まちづくり

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
KPI	都市核地区土地区画整理事業施行地区内の新青梅街道拡幅用地の確保	90%	97%	100%	○

施策の概要

将来の商業核の形成を誘導するべく、住工の混在をできるだけ解消し、良好な住宅地の形成と魅力あるまちの実現を目指して、都市核地区土地区画整理事業を推進しており、事業区域内の多摩都市モノレールの導入区間となる新青梅街道の拡幅用地確保を実施している。

令和2年度の主な取組内容・実績

○公共減歩により道路拡幅用地として確保済みであった、面積100㎡の整地を実施
 総面積：866㎡
 確保済み面積：840.3㎡

目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)

東京都が所有している歩道橋が建設されており、その歩道橋の撤去を東京都が実施すれば、拡幅用地の確保は全て完了する予定である。(歩道橋撤去後に市で整地を実施する必要があるため、整地工事の完了が事業完了となる。)

課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等

歩道橋の早期撤去を実施するよう、引き続き、東京都に対し要望する。

<主な事業とCSF>

①	事業名：新青梅街道沿道の用途地域等の変更及び地区計画の策定	事業課：都市計画課
事業の概要		
新青梅街道沿道の特性に応じた計画的な土地利用の誘導を図るため、「新青梅街道沿道地区まちづくり計画」に基づき、拡幅整備の実施と合わせて、新青梅街道沿道の用途地域等の変更及び地区計画の策定を行う。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○用途地域等の変更及び地区計画の決定に向けた調査・検討(第2・第3工区)		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
第2・第3工区の用途地域等の変更及び地区計画の決定に向けた準備は円滑に進んでいる。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
関係機関協議及び都市計画法定手続きを円滑に進め、第2工区及び第3工区に係る都市計画変更告示を行う。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	新青梅街道沿道地区における地区計画の策定件数	1件	2件	4件	○

②	事業名：立川都市計画道路3・4・39 号線整備事業	事業課：都市計画課
事業の概要		
<p>三本榎交差点の南側約400mの区間は、休日を中心に慢性的な渋滞が生じており、今後、土地区画整理事業の進捗などにより、交通量の増加が見込まれていることから、既存道路を拡幅整備し、交通の円滑化や歩行者等の安全性の向上を図る。</p>		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○道路修正設計及び事業認可図書の作成など		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
目標達成に向けて計画どおり進んでいる。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
令和3年度については、事業認可取得及び電線共同溝調査設計業務を行う。		

KPI	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	拡幅整備	推進	推進	工事着工	○

基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標

指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
合計特殊出生率	1.55	1.38(※)	1.60	—

※ 合計特殊出生率については、例年、冬頃、区市町村別の数値が公表される。そのため、実績値は前年度の数値である。

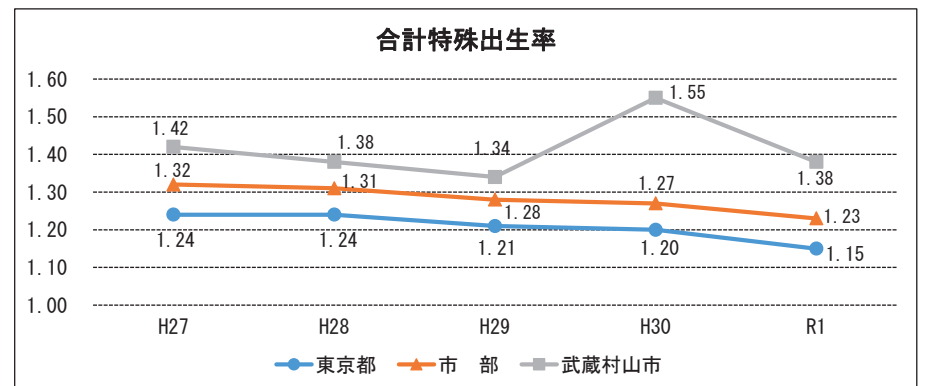
指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思おう」人の割合	72.1%	調査未実施	80%以上	—

目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)

子育て家庭の支援や母子の健康の確保と増進、教育環境の整備など、複合的に環境を整備していく必要がある。

課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等

子育て家庭の支援や母子の健康の確保と増進など、第二期子ども・子育て支援事業計画に基づき、事業を推進していく。



具体的施策

(1) 結婚・妊娠・出産・子育てへの支援

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
KPI	認可保育所の入所待機児童数	39人	37人	0人	○

施策の概要

保育所の建て替え・改修時期等に合わせた保育所の定員枠の拡大や保育所定員の弾力的な運用を推進するとともに、保育士資格取得に係る費用の補助など保育士の確保対策を行い、認可保育所の入所待機児童の解消を図る。

令和2年度の主な取組内容・実績

- 保育所に弾力的な運用による受入れ態勢の確保を要請
- 定員枠の拡大などを図るため、施設移転等を行う民間保育所へ施設整備費を助成：1施設
- 保育士を確保するため、保育士の処遇改善や宿舍借上補助を実施

目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)

地域区分の低さ、交通不便地域等の理由により、保育士の確保が困難な状況にある。また、近年、中堅職員の離職が続いており、保育士の確保・定着が課題となる。

課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等

保育所の建て替えに伴い、定員枠の拡大を予定している。また、引き続き保育士の処遇改善や宿舍借上補助などを行い保育士の確保に努めていく。

<主な事業とCSF>

①	事業名：地域型保育事業	事業課：子ども青少年課
事業の概要		
<p>少人数の単位での保育事業を可能とする地域型保育事業（3歳未満児を対象とする小規模保育・家庭的保育・事業所内保育及び居宅訪問型保育事業）の活用について、検討を行い、事業実施を目指す。</p>		
令和2年度の主な取組内容・実績		
<p>○1法人から小規模保育事業の実施について相談があった。</p>		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
<p>小規模保育事業の実施に当たり、認可に関する例規の整備等について検討する必要がある。</p>		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
<p>令和4年度の開設に向けて準備を進めていく。</p>		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	実施事業所数	未実施	検討	1か所	○

②	事業名：延長保育の充実	事業課：子ども青少年課
事業の概要		
保育所において、通常の利用時間以外の時間に保育を実施する延長保育について、充実を図り、多様な子育て支援サービスの提供体制を整備する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○保育所 11 か所で実施		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
未実施の保育所については、運営する法人の方針等のため実施が困難である。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
引き続き保育士の処遇改善や宿舍借上補助などを行い保育士の確保に努めながら、保育所との調整を続けていく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	延長保育の実施保育所数	11 か所	11 か所	13 か所	△

③	事業名：休日保育事業	事業課：子ども青少年課
事業の概要		
保護者の就労等により、日曜日や祝日の日中に家庭での保育に欠ける場合、保育を実施することにより、多様な子育て支援サービスの提供体制を整備する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○令和2年度から認可保育所 1 施設が実施		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
目標は達成したが、ホームページや保育所等入所のしおり等で事業周知を行っていく。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
引き続き保育士の処遇改善や宿舍借上補助など保育士の確保に努めていく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	休日保育の実施保育所数 (日曜日・祝日の保育)	未実施	1 か所	1 か所	◎

④	事業名：病児保育事業	事業課：子ども子育て支援課
事業の概要		
病中又は病気の回復期にあって保育を受けることが困難な期間にある児童を一時的に預かり、児童の健全な育成及び資質の向上と、保護者の子育てを支援する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○感染症対策を行い、平時と同様の利用形態を維持		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う在宅勤務の増加等により利用者数が減少した。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しつつ病児保育の周知に努め、児童の健全な育成及び資質の向上と保護者の子育て支援を図っていく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	延べ利用者数	234 件/年	88 件/年	550 件/年	×

⑤	事業名：子育て世代包括支援センター (ハグはぐ・むらやま)	事業課：子ども子育て支援課
事業の概要		
母子手帳交付時に、保健師が全ての妊婦の面接を実施し、妊産婦の実情を把握した上で支援プランを作成する。また、妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を提供する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○妊娠期からの様々なニーズに対する総合的な相談支援を提供するため、ワンストップ拠点として子ども・子育て支援センターを設置		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
健診や母子手帳の交付時に面接を行う子育て世代包括支援センターの存在を市民に広く周知する。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
要支援者への支援を徹底するため、子ども家庭支援センター等との積極的な情報共有、連携に努める。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	保健師等による全ての子育て家庭に対する面談率	100%	100%	100%	◎

⑥	事業名：予防接種情報システムの運用	事業課：健康推進課
事業の概要		
乳幼児が安全かつ確実に予防接種を接種できるよう、予防接種スケジュールを自動的に作成し、お知らせする予防接種情報システムを運用する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○予防接種情報システムの運用 ○「子ども・子育て応援ナビ（アプリ）」の周知		
目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など）		
乳幼児健診等の機会を捉え、さらに周知を図り、登録者数の確保に努めていく。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
対象者に予防接種予診票を送付する際に、案内チラシを同封し周知を図っていく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	登録者数	316 件/年	330 件/年	350 件/年	○

⑦	事業名：市民、事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進	事業課：協働推進課
事業の概要		
ワーク・ライフ・バランスに取り組む事業所をワーク・ライフ・バランス推進事業所として認定し、当該認定事業所又はその取組内容を広く紹介することにより、事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進を図る。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○東京都や近隣自治体の制度分析を実施し、制度案を作成		
目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など）		
男女共同参画推進市民委員会及び男女共同参画推進委員会における議論を尊重した案を整理し、制度の目的に即す事業を展開する必要がある。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
男女共同推進市民委員会及び男女共同参画推進委員会における議論を尊重して制度を制定し、男女共同参画センターと連携して、制度のPRとともに男女共同参画の啓発を行う。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	ワーク・ライフ・バランス推進事業所の認定件数	0 件	0 件	5 件	△

(2) 子育てしやすいまちづくり

<重要業績評価指標（KPI）>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
KPI	「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思える」就学前児童の保護者の割合	72.8%	調査未実施	77.8%	—

⑧	事業名：市役所男性職員の育児休業取得率の向上	事業課：職員課
事業の概要		
市役所が率先して、ワーク・ライフ・バランス等の取組を推進し、男性職員の育児休業の取得促進を図る。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○新たに取得可能となった男性職員に対し、各種制度を紹介した冊子の配布・説明 ○育児休業の対象となる男性職員及びその所属長に対し、育児休業の提案及び個人の事情等に配慮した具体的な情報提供		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
目標を達成しているが、更なる取得率の向上のため、引き続き制度周知等に取り組む。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
育児休業等について、資料を各課に配布し、事前に制度周知を図る。特に該当の職員及び所属長に対し、より積極的な周知を図っていく。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	取得率（5か年平均）	5.5%	20.5%	15.0%	◎

施策の概要	
結婚から出産、子育てまでの一貫した支援を行い、さらには子育てと仕事の両立を図ることで、子どもを産み育てやすいまちづくりを目指す。	
令和2年度の主な取組内容・実績	
○第二期子ども・子育て事業支援計画掲載事業の推進	
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)	
子育て家庭の支援や母子の健康の確保と増進、教育環境の整備など、複合的に環境を整備していく必要がある。	
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等	
子育て家庭の支援や母子の健康の確保と増進など、第二期子ども・子育て支援事業計画に基づき、事業を推進していく。	

<主な事業とCSF>

①	事業名：移動式赤ちゃんの駅の活用	事業課：子ども子育て支援課
事業の概要		
市内で開催されるイベント等に対し乳幼児のおむつ交換や授乳を行うための簡易設置型授乳室を貸し出すことにより、乳幼児を抱える子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを促進し、子育て家庭の負担の軽減を図る。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○イベント時の貸出：1件		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
新型コロナウイルス感染拡大に伴いイベント実施が控えられたため、貸出件数が減少した。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
引き続き、ホームページ等での周知を図り、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを促進し、子育て家庭の負担の軽減を図る。		

K P I	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	地域イベント等での活用	5件/年	1件/年	10件/年	×

②	事業名：児童館親子ひろば事業（絵本読み聞かせ・みんなであそぼう）	事業課：子ども青少年課（児童館）
事業の概要		
児童館の午前中の比較的用户者が少ない時間帯を利用し、乳幼児及びその保護者を対象に歌遊びや絵本の読み聞かせなどを行いながら交流や子育て相談できる居場所の提供を図る。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○歌遊びや絵本の読み聞かせなどを行いながら交流や子育て相談ができる児童館親子ひろば事業を46回実施 (絵本読み聞かせ：22回、みんなであそぼう：24回)		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
年間を通じて行事の内容の工夫や感染防止対策に配慮をして開催しているが、新型コロナウイルスの影響で利用者数が減少している。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
新型コロナウイルス感染拡大防止対応を前提として、利用人数の制限や行事内容の見直しのほか、衛生面に配慮し開催していく。		

K P I	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	絵本の読み聞かせ等実施回数及び参加者数	46回/年 1,037人/年	46回/年 1,078人/年	48回/年 1,200人/年	○

③	事業名：絵本読み聞かせ事業（図書館のおはなしの会）	事業課：図書館
事業の概要		
本に対する興味を育て、本に親しんでもらうとともに、保護者とお子さんが本を通じてコミュニケーションを図るきっかけづくりのため、絵本や紙芝居の読み聞かせのほか、手遊びなどを行っている。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○雷塚図書館12回、その他図書館30回（全5か所）、子ども家庭支援センター6回開催		
目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など）		
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止の期間が長くなり、開催回数及び参加者数ともに大幅な減少となった。また、図書館は参加資格を小学生以上としたため、児童館を併設していない雷塚及び三ツ木図書館は参加者がいなかった。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら再開を図っていくとともに、引き続き市報やホームページ等で開催の周知を行い、参加者の増加を図る。 また、対象者の年齢の拡大や開催場所を検討し、来場しやすい環境づくりを検討する。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	絵本の読み聞かせ実施回数 及び参加者数	114回/年 1,014人/年	48回/年 163人/年	120回/年 1,200人/年	×

④	事業名：放課後子供教室の充実	事業課：文化振興課
事業の概要		
放課後の余裕教室等を活用し、安全・安心な子供の居場所を設け、学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組を推進していく。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○未開設校2校について、令和4年度からの開設に向け調整を実施		
目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など）		
未開設校については、空き教室等の場所の確保及び地域住民との連携体制の構築が課題である。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
未開設校と令和4年度の開設に向けた具体的なスケジュール等の調整を図っていく。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	放課後子供教室実施校数	7校	7校	9校	△

⑤	事業名：放課後子ども総合プラン事業の推進	事業課：文化振興課、子ども青少年課（児童館）
事業の概要		
共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、時代を担う人材を育成するため、全就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、一体型を中心とした放課後子供教室及び学童クラブの計画的な整備等を進める。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○合計5校（新規開設1校含む）での実施を調整していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止		
目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など）		
一体型運営として準備が整っていない学校は1校であるが、空き教室の不足等により放課後子供教室が未開設である。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
令和4年度には新たに1校放課後子供教室が開設予定であることから、一体型運営の実施ができるよう調整を図っていく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	一体型の運営を行う学童クラブ及び放課後子供教室の設置数	4か所	5か所	5か所	◎

⑥	事業名：子どもの未来応援プランの策定及び推進	事業課：福祉総務課、子ども子育て支援課、関係各課
事業の概要		
全ての子どもたちとその家庭を見守り支援する「武蔵村山市子どもの未来応援プラン」を策定し、子どもの貧困対策等を総合的に推進する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○令和2年7月、「武蔵村山市子どもの未来応援プラン」策定		
目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など）		
目標値の達成に向け、計画に掲載した事業を推進していくとともに、進捗管理も行っていく。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
庁内各部署の連携を図る子どもの貧困対策推進連絡会の在り方について、検討していく。P D C Aサイクルによる進捗の確認と見直し等の方法についても検討していく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	将来のゆめが「ある」と回答した児童・生徒の割合	小5：77.1% 中2：57.9%	調査未実施	小5：80.0% 中2：62.0%	—

(3) 子どもの知力・体力の向上

<重要業績評価指標（KPI）>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
KPI	高校進学に際して第一志望校へ合格する割合	83.2%	88.6%	85.0%	◎

施策の概要

児童・生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせる基盤となる学習意欲の向上及び学習の規律の確立を図るため、指導方法や指導体制の工夫・改善に努める。

令和2年度の主な取組内容・実績

○小中一貫教育を全小・中学校で実施し、義務教育9年間を通した系統的なキャリア教育の充実

目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)

年度によって生徒の実態も異なることから、継続的に目標値を達成できるようにすることが課題である。

課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等

各中学校区及び各学校の実態に応じたキャリア教育の充実を図るため、進路指導主任会等で各学校の取組を情報交換するとともに、その方向性について検討していく。

<主な事業とCSF>

①	事業名：市学力調査	事業課：教育指導課
事業の概要		
児童・生徒の学力向上を図るために、市内全中学校第1学年を対象に学力調査を実施し、結果を分析する。 分析した検証結果については、学校における事業改善の具体的手立てへとつなげていく。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
分析結果から、例年、生徒が苦手とする分野について把握できており、確実に身に付けるための反復学習が課題である。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
学力向上推進委員会において作成した個々の分析データや、タブレット端末を活用した反復学習の提案を実践していく。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	中学校1年生の国語の平均正答率と全国平均正答率との相対比率	91.6%	未実施	100%	—

②	事業名：英語検定	事業課：教育指導課
事業の概要		
<p>小中学校で培った英語力を測るという具体的な努力目標を持たせ、学習に対する意欲の向上と英語力の定着を図ることを目的に、中学校第3学年の希望生徒を対象として英語検定の受験に係る支援を行う。</p>		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○英語検定の費用に掛かる支援：286人		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
<p>英語検定に挑戦する意欲の高まりも一つの成果であると認識しているが、その効果が合格率に反映しているとは言い難い。</p>		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
<p>引き続き英語検定委託事業を実施し、挑戦する意欲の向上を図っていく。 令和2年度は受験率が下がってしまったため、本事業の周知を今後も図り、受験率の向上を図る。</p>		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	中学校3年生の受験率	40.6%	39.2%	60.0%	×

③	事業名：東京都統一体力テスト	事業課：教育指導課
事業の概要		
<p>児童・生徒の体力・運動能力及び生活・運動習慣等の実態を把握・分析することにより、体力・運動能力等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。また、学校における児童・生徒の体力・運動能力等の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。</p>		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の希望制により実施 (一部種目のみ実施：小学校2校、中学校3校)		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
<p>運動・スポーツの実施時間と体力合計点との関係を見ると、運動時間が多い児童・生徒ほど、体力テストの合計点も高い傾向にあるため、授業以外で運動実施時間を長くすることができるかが課題である。</p>		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
<p>各学校の取組について情報交換をするとともに、体力テストの結果を分析し、取組に生かしていく。</p>		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	小学校5年生のシャトルランの平均値(回数)	男子49.2回 女子36.9回	調査一部未実施	男子51回 女子40回	—
C S F	中学校2年生の持久走(男子1,500m)、(女子1,000m)の平均値(秒数)	男子395.6秒 女子295.6秒	調査一部未実施	男子386秒 女子286秒	—

(4) 教育環境の整備

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
KPI	不登校児童・生徒への教育 相談等支援率	75%	67.1%	80%	×

施策の概要

教育相談室における相談の実施や全小中学校に配置されているスクールカウンセラーの活用など教育相談体制の充実を図るとともに、市内全小中学校で導入しているコミュニティ・スクールを活用した地域に開かれ、信頼される学校づくりなど教育環境の充実を図る。

令和2年度の主な取組内容・実績

- スクールソーシャルワーカーの活用
- スクールカウンセラーの活用
- 心理相談員と学習支援員による家庭訪問

目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)

不登校の原因である学業不振や人間関係の課題を解決するための授業改善や特別支援教育の推進を図り、学校における不登校への意識を向上させることが課題である。

課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等

スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーが児童・生徒と保護者への対応を図っていくとともに、スクールソーシャルワーカーについての周知を行い、相互連携の強化を図る機会を創出していく。

<主な事業とCSF>

①	事業名：教育相談室事業・スクールソーシャルワーカー事業	事業課：教育指導課
事業の概要		
学校だけでは解決しない小・中学生の不登校、暴力・非行行為等の解決を図るため、臨床心理士、スクールソーシャルワーカー等が相談に応じるとともに、社会福祉の面から児童・生徒が置かれた環境へ働き掛けるなど関係機関とのネットワークを活用した支援を行う。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○スクールソーシャルワーカーの活用 ○心理相談員と学習支援員による家庭訪問		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
不登校の原因である学業不振や人間関係の課題を解決するための授業改善や特別支援教育の推進を図り、学校における不登校への意識を向上させることが課題である。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
学校と家庭間で連絡を取ることができない状況にある不登校児童・生徒について、スクールソーシャルワーカーが民生・児童委員等と連携を図り、児童・生徒と保護者への対応を図っていく。また、スクールソーシャルワーカーの啓発を実施し、相互連携の強化を図る機会を創出していく。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	不登校出現率	小学校 0.79%/年 中学校 5.05%/年	小学校 0.92%/年 中学校 5.28%/年	小学校 0.54%/年 中学校 3.24%/年	×

基本目標3 誰もが安心して暮らし続けられる地域をつくる

数値目標

指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
これからも本市に住み続けたいと思う人の割合	31.1%	調査未実施	36.1%	—

指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
20歳代の転出者割合	12.6%	13.8	11.6%以下	×

目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)

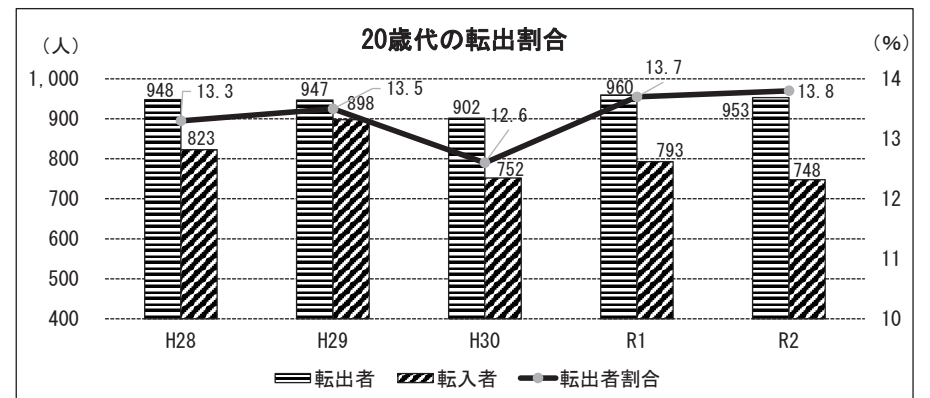
20代の転出者割合が増加傾向にあり、若年層の転出抑制を図るための施策が必要である。

課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等

長期総合計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略等に基づく施策を推進し、まちづくりを進めていく。

②	事業名：スクールカウンセラーの設置	事業課：教育指導課
事業の概要		
いじめ、不登校等の未然防止、改善、解決、学校内の教育相談体制等の充実を図るため、各小中学校にスクールカウンセラーを配置し、不登校児童・生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○スクールカウンセラーの活用 ○心理相談員と学習支援員による家庭訪問		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
不登校の原因である学業不振や人間関係の課題を解決するための授業改善や特別支援教育の推進を図り、学校における不登校への意識を向上させることが課題である。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
不登校や引きこもりの未然防止に向けた支援を行うため、スクールカウンセラーが心理の専門家の立場から、児童・生徒や保護者等からの相談に対応していくとともに、相談体制の強化を図る。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	不登校出現率	小学校 0.79%/年 中学校 5.05%/年	小学校 0.92%/年 中学校 5.28%/年	小学校 0.54%/年 中学校 3.24%/年	×



具体的施策

(1) 交通利便性や買い物環境の向上に向けたまちづくり

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
KPI	公共交通の整備についての満足度	13.4%	調査未実施	18.4%以上	—

施策の概要

市内循環バス「MMシャトル」の運行や乗合タクシー「むらタク」の運行を行う。
また、利便性の向上、効率的な運行のため、公共交通の見直しのあり方について検討を行う。

令和2年度の主な取組内容・実績

- 市内循環バス「MMシャトル」及び乗合タクシー「むらタク」の継続的な運行
- 公共交通に関する市民アンケート調査等を実施
- 市民アンケート調査の結果を基に、課題の抽出と解決策の検討

目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)

市内循環バスのについては、一部ルートにおいて大きく低迷する利用者数の改善等が課題となる。

課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等

令和2年度の取組をさらに進め、効率的な運行に向けた路線の再編等について検討をしていく。

<主な事業とCSF>

①	事業名：乗合タクシー「むらタク」の運行	事業課：交通企画・モノレール推進課
事業の概要		
市内循環バスの利用者数が低迷していた運行ルートを廃止する代替として、市南西地域を対象とした乗合型の交通システムを導入した。 乗合タクシー「むらタク」は、利用者の自宅と市内の主要公共施設間を運行している。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○登録者数や利用者数の拡大のため、制度の周知（市報等で広報、出張受付の実施） ○利用の実態を把握するため、データ収集整理を実施		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、乗合タクシーの利用者数が減少した。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
対象地域の交通需要や利用者の声等を勘案しながら、効率的、効果的な運行を図っていく。 また、地域公共交通会議において対象地域の拡大や新たな乗降場所の設定について検討をしていく。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	利用者数	4,028人/年	2,979人/年	4,500人/年	×

(2) 安心して暮らせるまちづくり

<重要業績評価指標（KPI）>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
KPI	停電対策用資器材の避難所への備蓄	未実施	15 か所	15 か所	◎

施策の概要					
停電対策用資器材を計画的に購入し、避難所における停電対策の充実を図っていく。					
令和2年度の主な取組内容・実績					
○可搬型発電機等が備蓄されていない避難所に可搬型蓄電池などを備蓄：15 か所 ○LEDランタンを備蓄：全避難所（28 か所） ※避難所指定予定の公民館さいかち分館への備蓄を含む。					
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)					
停電対策用資器材の更なる充実を図るため、電気自動車から電力供給を受けることができるよう可搬型外部給電器を計画的に購入し、備蓄していく。					
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等					
停電対策用資器材の更なる充実を図るため、令和3年度については、可搬型外部給電器を2基購入し、備蓄する。					

②	事業名：まいど～宅配事業	事業課：産業観光課
事業の概要		
買い物弱者対策を目的に、商工会が実施する事業に対し、補助を実施している。大型店と差別化を図るため、地域事業者が商品の注文配達、出張サービス時に高齢者の安否等の見守り活動を行っている。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○商工会に対し、補助金を交付し、市内小規模事業者の育成と地域社会全般の活性化を図った。		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
新型コロナウイルス感染症の影響等により、利用者が減少しているため、制度について市民への周知を進め、利用者数の増加につなげる。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
引き続き商工会へ補助金を交付するとともに、制度周知の推進を進める。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	利用者数	2,148 人/年	2,001 人/年	2,200 人/年	×

<主な事業とCSF>

①	事業名：防災士資格取得助成事業	事業課：防災安全課
事業の概要		
地域の防災力向上を目的とし、自主防災組織に所属する者及び消防団において分団長以上の役職経験があるものを対象に防災士資格取得に係る費用を助成する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○防災士の資格取得に係る費用に対し助成：3名		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
自主防災組織等からの資格取得希望者は少なく、人員の確保が課題である。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
引き続き、自主防災組織等に対して助成制度等について広報し、資格取得を促進していく。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	防災士資格取得者数	9人	13人	37人	○

②	事業名：風水害に対する防災訓練	事業課：防災安全課
事業の概要		
台風や短時間豪雨による災害が、各地で頻発していることから、風水害への対応力を強化するため、災害対策本部の運営訓練や地域防災計画、災害時職員行動マニュアルなどの見直しを進める。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○東京都と合同で令和元年台風19号をモデルとした風水害図上訓練を実施 ○地域防災計画については、2か年計画で修正を開始 ○災害時職員行動マニュアルについては、風水害編を作成		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、実施可能な範囲で訓練を継続して実施していく。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
令和3年度も東京都と合同で風水害図上訓練を実施するとともに、災害時職員行動マニュアル(風水害編)を検証し、更なる見直しを図っていく。 また、地域防災計画については、令和3年度中に修正を行う。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	訓練の実施	未実施	実施	実施	◎

(3) 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

<重要業績評価指標（KPI）>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
KPI	市民の1年間での運動・スポーツ実施率	調査未実施	61.9%	70%	○

施策の概要

地域の現状や市民ニーズを的確に捉えながら、市民の主体的なスポーツ活動を総合的かつ計画的に推進する。また、スポーツ推進委員協議会等と連携し、地域における各種スポーツ・レクリエーション事業を実施し、市民の健康増進や地域の交流、地域スポーツの振興を図る。

令和2年度の主な取組内容・実績

○イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により多くが中止（駅伝競走大会など）
○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会機運醸成のため、総合体育館等にのぼり旗等を掲示

目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)

新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じる必要がある。
市民個人がスポーツを行う必要性と同等に、スポーツを見る・支えるなど多方向からスポーツ事業に参加することに対する動機付けが課題となる。

課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、スポーツを行うための機会を提供していく。
また、将来にわたったスポーツ環境の整備やスポーツ推進委員協議会等と連携したスポーツイベント等の開催など、地域スポーツの振興に努め、市民のスポーツ実施率の向上に努めていく。

<主な事業とCSF>

①	事業名：健康相談	事業課：健康推進課
事業の概要		
健康や栄養に関する相談を随時受け付け、健康管理について指導や助言を行う。 また、骨の状態をチェックし、その結果に基づき生活改善の相談を行う骨健康度相談を実施する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○保健師等による随時相談：129件 ○骨健康度相談の開催：全5回（相談者数：80名）		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
市民からの相談については、年々多様化しており、さまざまな相談に適切に対応できるよう、職員のレベルアップが求められる。 また、市民のニーズにあった新たなメニューについても検討していく。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
保健師等が市民からの相談に随時応じるほか、骨健康度相談を5回開催する。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	参加者数	15人/年	209人/年	120人/年	◎

②	事業名：健康教室	事業課：健康推進課
事業の概要		
市民の健康増進と健康管理意識の向上を図ることを目的として、生活習慣病予防等に関する健康教室を開催する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○健康寿命をのばそう教室：5人 ○ヨガ体操教室：24人 ○肩こり腰痛予防教室9人 ○骨粗しょう症予防教室：28人 ○ピラティス教室：9人 ○健康づくり生き生き運動塾：6人 ○ウォーキング教室：16人		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
参加者が固定しているため、新規参加者を募る工夫が必要である。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
教室のメニューの見直しや会場・開催時間の変更、効果的な周知方法等を検討するとともに市報・ホームページ等での効果的な周知方法について検討していく。		

K P I	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	参加者数	211人/年	97人/年	660人/年	×

③	事業名：ゲートキーパーの養成	事業課：健康推進課
事業の概要		
市の自殺防止対策の一環として、相手の心身の不調のサインに気づき、専門機関による相談等に繋ぐ役割を担うゲートキーパー養成講座を開催する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○ゲートキーパー養成講座：18人		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
ゲートキーパーの存在をより広く市民に周知していくことが必要となる。 また、同時にゲートキーパーが、市内で活動しやすくなる環境を整備し、自殺者の減につなげていくことが必要となる。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
ゲートキーパーの育成と充実を図るため、引き続きゲートキーパー養成講座を開催するとともに、市民等を対象とした講演会を開催する。		

K P I	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	ゲートキーパーの養成数	39人/年	18人/年	45人/年	×

④	事業名：総合型地域スポーツクラブの運営	事業課：スポーツ振興課
事業の概要		
誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、世代を超えて各自の興味・目的に応じて気軽にスポーツを楽しめるようなスポーツ社会を実現するため、総合型地域スポーツクラブの運営を支援する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
<ul style="list-style-type: none"> ○運営支援のための補助金を交付 ○活動に対する人的支援を実施 ○認知度向上等を目的に、ホームページなどに活動内容や活動状況等の広報活動を実施 		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
<p>認知度を向上させ、活動会員数を増加させる必要がある。 また、事業の指導者の確保・育成を推進し、ニーズに合った事業内容を検討することが課題となる。</p>		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
<p>ホームページやSNSを活用し、活動内容等の情報提供を行い、認知度を向上させ、会員数の増加を図るとともに、安定した運営のための支援を今後も継続していく。 また、小中学校や地域等との連携を図った事業展開を検討していく。</p>		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	総合型地域スポーツクラブ 会員数	290人	143人	390人	×

⑤	事業名：スポーツ少年団の運営支援	事業課：スポーツ振興課
事業の概要		
スポーツ少年団の理念のもと、「子供たちの健全育成」、「一人でも多くの子供たちにスポーツの喜びの提供」を目的に、登録する単位団の増加や団員数の増加を目標として活動していく。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症の情報提供など事業運営等に関する支援 ○スポーツ少年団への加入促進を図るため、市内の少年少女のスポーツ各団体へ通知・説明等を実施 		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
<p>登録要件が複数あり、全てを網羅している団体が少数であるため、加入数の増加に繋がらないことが課題となっている。 また、スポーツ少年団本部の体制強化を図り、本部事業内容の見直し・検討等が必要となる。</p>		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
<p>スポーツ少年団への登録を推進するため広報活動及び情報提供に努めるとともに、少年少女スポーツ向けの魅力ある事業や講演会等を開催し、少年団への登録を促していく。</p>		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	スポーツ少年団登録団体数	1団体	2団体	6団体	○

⑥	事業名：お互いさまサロンの設置・運営支援	事業課：高齢福祉課
事業の概要		
介護予防や多世代間の交流等を目的としたお互いさまサロンづくりのため、設置・運営を行う団体に対し、財政的な支援を行っている。また、各地域包括支援センターにおいては、地域住民に対してサロン設置・運営に係る技術的な支援を行っている。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○設置・運営を行う団体に対して、補助金を交付：34 団体 ○お互いさまサロンの継続的な活動を支援するため、ポイント付与による交付金制度を開始：37 団体 ○サロン立ち上げの支援や活動内容のアドバイスなど地域包括センターとお互いさまサロンの連携		
目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など）		
令和2年度末時点の実績は、堅調に増加していることから、今後も引き続き、適切な進行管理に努め、目標の達成のために取り組んでいく。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
令和3年度末時点のお互いさまサロン数の目標を60か所と設定していることから、令和3年度には、新規に4か所を設置できるよう事業を継続する。		

K P I	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	お互いさまサロンの設置数	10 か所	56 か所	70 か所	○

⑦	事業名：シルバー人材センターの運営支援	事業課：福祉総務課
事業の概要		
定年退職後の高齢者の多様なニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した臨時的、短期的かつ軽易な就業機会を確保・提供し、高齢者の生きがいの充実、地域社会の活性化を図ることを目的として活動しているシルバー人材センター事業の円滑な実施を図るため、支援を行う。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○シルバー人材センターに補助金を交付 ○シルバー人材センターに運営資金を貸付		
目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など）		
毎年一定程度の入会者数があるものの、会員の高齢化が進み、体調不良（病気）や高齢を理由とする退会が入会者数を上回っている。 また、定年後再雇用が社会的に浸透し、60代の若年会員の確保が難しくなっている。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
説明会の開催等、引き続き会員の確保に努めていくとともに、研修会により会員の技能習得・向上に努め、講習会等により高齢者でも作業しやすく安全に就業できることをPRしていく。		

K P I	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	登録会員数	1,092 人	1,083 人	1,170 人	×

㊸	事業名：高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施	事業課：保険年金課、高齢福祉課、健康推進課
事業の概要		
高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、後期高齢者の保健事業について、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施のための検討会を設置し、事業の進め方などの検討を実施		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
具体的な事業内容の検討を行う必要があるとともに、関係者との調整等を行う必要がある。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
令和4年度からの事業実施に向け、具体的な事業内容の検討や関係者との調整など準備を進めていく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	事業の実施	未実施	検討	実施	○

㊹	事業名：地域生活支援拠点等整備事業	事業課：障害福祉課
事業の概要		
障害者の重度化・高齢化や親なき後を見据えた、居宅支援のための機能を持つ場所や体制を整備し、障害者が地域で生活できるように支援する。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○各事業所と事業開始に向けた調整などを実施		
目標達成への課題(目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)		
地域生活支援のための5つの機能を市内の各事業所で分担(面的整備)するため、事業所の協力が必要となる。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
地域生活支援拠点等の整備に向け、関係機関と調整を進めていく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
C S F	事業の実施	未実施	検討	実施	○

⑩	事業名：相談支援機能強化事業	事業課：障害福祉課
事業の概要		
障害者からの相談が多様化・専門化する中で、相談支援機能を強化するため、相談支援機関への専門的職員（社会福祉士、保健師、精神保健福祉士など）の配置に努める。		
令和2年度の主な取組内容・実績		
○事業化に向けての協議を実施		
目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など）		
社会福祉士、保健師、精神保健福祉士などの専門的職員が必要であり、人件費等を手当する必要がある。		
課題を踏まえた令和3年度以降の主な取組等		
基幹となる事業所と実施に向けて協議を行っていく。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R2	R6 (目標値)	評価
CSF	事業の実施	未実施	検討	実施	○

参 考 资 料

第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業 進捗状況一覧

基本目標 具体的施策	指標			KPI・CSF						総合戦略 ページ	本編ページ
	事業名称	指標	種類	H30 (現況値)	R2	R3	R4	R5	R6 (目標値)		
基本目標1 まちの魅力を向上させ、新たなひとの流れ をつくる		市外からの平日の滞在人口	数値 目標	16,660人	12,640人				17,493人	66	1
		市外からの休日の滞在人口		16,951人	11,553人				17,799人	66	1
(1) 戦略的な情報発信		市ホームページアクセス数(トップページ)	KPI	276,230件/年	664,850件/年				500,000件/年	68	1
	①	市ホームページ情報の充実	CSF	18ページ	30ページ				30ページ	68	2
	②	「#MM教え隊」市以外からのSNS発信数		409回/年	346回/年				600回/年	68	2
	③	SNS等による広報手段の充実		市公式ツイッター「リツイート」数	未実施	629回/年				1,200件/年	68
市公式フェイスブック「いいね!」件数				817件/年	941回/年				1,200件/年	68	2
(2) 創業を希望している市民への支援		創業支援制度を利用した創業者数	KPI	2人/年	3人/年				21人/年	69	3
	①	ウィメンズチャレンジプロジェクト	CSF	705人/年	84人/年				750人/年	69	3
	②	空き店舗活性化事業への支援		0事業	0事業				2事業	69	4
(3) 産業の振興と雇用の促進		企業誘致制度を活用した企業誘致による新規就業者数	KPI	0人	4人				10人	70	4
	①	(仮称)産業振興ビジョンの策定	CSF	未策定	アンケート調査				策定	71	5
	②	企業誘致制度の拡充(新青梅街道沿道)		検討	検討				検討終了	71	5
	③	工業地域における道路整備の推進		未実施	未実施				検討	71	6
	④	地域ブランド認証事業		11品目	10品目				15品目	71	6
	⑤	村山大島紬の振興		251人	92人				300人	71	7

基本目標 具体的施策	指標			KPI・CSF						総合戦略 ページ	本編ページ		
	事業名称	指標	種類	H30 (現況値)	R2	R3	R4	R5	R6 (目標値)				
(4) 時代のニーズに対応する農業の創造		新規就農者数の累計	KPI	1人	3人					6人	72	7	
	①	認定農業者数	CSF	39経営体	40経営体					45経営体	72	8	
	②	観光農園の充実		観光農園数	10か所	10か所					11か所	72	8
	③	体験型市民農園の開設		体験型市民農園数	2か所	2か所					3か所	72	9
	④	援農ボランティア制度		援農ボランティアの登録者数	13人	17人					25人	73	9
(5) 個性豊かな観光施策の推進		村山温泉「かたくりの湯」の入場者数	KPI	158,958人/年	68,139人/年					203,000人/年	74	10	
	①	村山温泉「かたくりの湯」周辺を核とした交流エリアの形成	CSF	観光ルート（広域含む）の設定	未設定	2ルート					5ルート	75	10
	②	観光マップの作成		観光マップの多言語化	未実施	検討					実施	75	11
	③	武蔵村山魅力マイスターの活動		登録人数	25人	25人					35人	75	11
	④	ロケーションサービス		受入件数	未実施	6件					50件	75	12
	⑤	文化財の観光資源としての活用		市民参加による歴史散策コースの設定	2コース	7コース					4コース	75	12
	⑥	市民まつり（村山デエダラまつり）の開催		来場者数	70,000人/年	未開催					80,000人/年	75	13
	⑦	観光納涼花火大会の開催支援		会場来場者数	14,000人/年	未開催					15,000人/年	75	13
(6) 利便性の高い公共交通網の形成		市内循環バス「MMシャトル」路線の1便当たり平均輸送人員		KPI	5.61人/年	3.45人/年					6.11人/年	76	14
	①	多摩都市モノレールの市内延伸の促進	事業の推進	CSF	推進	推進				推進	76	14	
(7) にぎわいと活力のある魅力的なまち・まちづくり		都市核地区土地区画整理事業施行地区内の新青梅街道拡幅用地の確保	KPI	90%	97%					100%	77	15	
	①	新青梅街道沿道の用途地域等の変更及び地区計画の策定	新青梅街道沿道地区における地区計画の策定件数	CSF	1件	2件				4件	77	15	

基本目標 具体的施策	指標			KPI・CSF						総合戦略 ページ	本編ページ	
	事業名称	指標	種類	H30 (現況値)	R2	R3	R4	R5	R6 (目標値)			
②	立川都市計画道路3・4・39号線整備事業	拡幅整備	CSF	推進	推進					工事着工	77	16
基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	合計特殊出生率		数値 目標	1.55	1.38 (R1実績)					1.60	81	16
	「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思ふ」人の割合			72.1%	調査未実施					80%以上	81	16
(1) 結婚・妊娠・出産・子育てへの支援	認可保育所の入所待機児童数		KPI	39人	37人					0人	83	17
①	地域型保育事業	実施事業所数	CSF	未実施	検討					1か所	84	17
②	延長保育の充実	延長保育の実施保育所数		11か所	11か所					13か所	84	18
③	休日保育事業	休日保育の実施保育所数(日曜日・祝日の保育)		未実施	1か所					1か所	84	18
④	病児・病後児保育事業	延べ利用者数	CSF	234件/年	88件/年					550件/年	84	19
⑤	子育て世代包括支援センター(ハグはぐ・むらやま)	保健師等による全ての子育て家庭に対する面談率		100%	100%					100%	84	19
⑥	予防接種情報システムの運用	登録者数		316件/年	330件/年					350件/年	84	20
⑦	市民、事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進	ワーク・ライフ・バランス推進事業所の認定件数		0件	0件					5件	84	20
⑧	市役所男性職員の育児休業取得率の向上	取得率(5か年平均)		CSF	5.5%	20.5%					15.0%	84
(2) 子育てしやすいまちづくり	「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思ふ」就学前児童の保護者の割合		KPI	72.8%	調査未実施					77.8%	85	21
①	移動式赤ちゃんの駅の活用	地域イベント等での活用	CSF	5件/年	1件/年					10件/年	86	22
②	児童館親子ひろば事業(絵本読み聞かせ・みんなであそぼう)	絵本の読み聞かせ等実施回数及び参加者数		46回/年 1,037人/年	46回/年 1,078人/年					48回/年 1,200人/年	86	22
③	絵本読み聞かせ事業(図書館のおはなしの会)	絵本の読み聞かせ実施回数及び参加者数		114回/年 1,014人/年	48回/年 163人/年					120回/年 1,200人/年	86	23
④	放課後子供教室の充実	放課後子供教室実施校数		7校	7校					9校	86	23

基本目標 具体的施策	指標			KPI・CSF						総合戦略 ページ	本編ページ
	事業名称	指標	種類	H30 (現況値)	R2	R3	R4	R5	R6 (目標値)		
⑤	放課後子ども総合プラン 事業の推進	一体型の運営を行う学童 クラブ及び放課後子供教 室の設置数	CSF	4か所	5か所				5か所	86	24
	⑥	子どもの未来応援プラン の策定及び推進		将来のゆめが「ある」と 回答した児童・生徒の割 合	小5：77.1% 中2：57.9%	調査未実施			小5：80.0% 中2：62.0%	86	24
(3)	子どもの知力・体力の向上	高校進学に際して第一志 望校へ合格する割合	KPI	83.2%	88.6%				85.0%	87	25
①	市学力調査	中学校1年生の国語の平 均正答率と全国平均正答 率との相対比率	CSF	91.6%	未実施				100.0%	87	25
	②	英語検定		中学校3年生の受験率	40.6%	39.2%			60.0%	87	26
	③	東京都統一体力テスト		小学校5年生のシャトル ランの平均値(回数)	男子49.2回 女子36.9回	調査一部未実施			男子51回 女子40回	87	26
				中学校2年生の持久走(男子 1,500m)、(女子1,000m)の 平均値(秒数)	男子395.6秒 女子295.6秒	調査一部未実施			男子386秒 女子286秒	87	26
(4)	教育環境の整備	不登校児童・生徒への教 育相談等支援率	KPI	75%	67.1%			80%	88	27	
①	教育相談室事業・スクー ルソーシャルワーカー事 業	不登校出現率	CSF	小学校：0.79%/年 中学校：5.05%/年	小学校：0.92%/年 中学校：5.28%/年			小学校：0.54%/年 中学校：3.24%/年	88	27	
	②	スクールカウンセラーの 配置	不登校出現率	CSF	小学校：0.79%/年 中学校：5.05%/年	小学校：0.92%/年 中学校：5.28%/年			小学校：0.54%/年 中学校：3.24%/年	88	28
基本目標3 誰もが安心して暮らし続けられる地域をつ くる		これからも本市に住み続 けたいと思う人の割合	数値 目標	31.1%	調査未実施				36.1%	91	28
		20歳代の転出者割合		12.6%	13.8				11.6%以下	91	28
(1)	交通利便性や買い物環境の向上 に向けたまちづくり	公共交通の整備について の満足度	KPI	13.4%	調査未実施				18.4%以上	92	29
①	乗合タクシー「むらた く」の運行	利用者数	CSF	4,028人/年	2,979人/年				4,500人/年	92	29
	②	まいど～宅配事業		利用者数	2,148人/年	2,001人/年			2,200人/年	92	30
(2)	安心して暮らせるまちづくり	停電対策用資器材の避難 所への備蓄	KPI	未実施	15か所				15か所	93	30
①	防災士資格取得助成事業	防災士資格取得者数	CSF	9人	13人				37人	94	31

基本目標 具体的施策	指標			KPI・CSF						総合戦略 ページ	本編ページ	
	事業名称	指標	種類	H30 (現況値)	R2	R3	R4	R5	R6 (目標値)			
	②	風水害に対する防災訓練	訓練の実施	CSF	未実施	実施				実施	94	31
(3)		健康でいきいきと暮らせる まちづくり	市民の1年間での運動・ スポーツ実施率	KPI	集計調査未実施	61.9%				70%	95	32
	①	健康相談	参加者数	CSF	15人/年	209人/年				120人/年	96	32
	②	健康教室	参加者数		211人/年	97人/年				660人/年	96	33
	③	ゲートキーパーの養成	ゲートキーパーの養成数		39人/年	18人/年				45人/年	96	33
	④	総合型地域スポーツクラ ブの運営支援	総合型地域スポーツクラ ブ会員数		290人	143人				390人	96	34
	⑤	スポーツ少年団の運営支 援	スポーツ少年団登録団体 数		1団体	2団体				6団体	96	34
	⑥	お互いさまサロンの設 置・運営支援	お互いさまサロンの設置 数	CSF	10か所	56か所				70か所	96	35
	⑦	シルバー人材センターの 運営支援	登録会員数		1,092人	1,083人				1,170人	96	35
	⑧	高齢者の保健事業と介護 予防事業の一体的な実施	事業の実施		未実施	検討				実施	96	36
	⑨	地域生活支援拠点等整備 事業	事業の実施		未実施	検討				実施	96	36
	⑩	相談支援機能強化事業	事業の実施		未実施	検討				実施	96	37

平成28年度 地方創生拠点整備交付金（令和2年度実施）に係る事業実施結果報告

（交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）の実績値等）

本交付金の目的	総合戦略に位置付けられ、地域再生計画に記載された自主的・主体的で先導的な事業及びそれと一体となって整備される未来への投資につながる施設の新築、増築及び改築等の実施に要する費用に充てるため、国が地方公共団体に対して交付金を交付することにより、地方公共団体による、地方の事情を尊重しながら、地方創生に資する施設整備等の取組を進めることを目的とする。		
交付対象事業の名称	村山温泉「かたくりの湯」施設整備事業	総合戦略該当ページ	49、50
		第二期総合戦略 該当ページ	74、75
基本目標	まちの魅力を向上させ、新たな人の流れをつくる		
事業概要	村山温泉「かたくりの湯」をより魅力的な施設とし、温泉施設を活用したソフト事業との相乗効果により、域外からの来訪者の回遊性を高めて交流人口の増加、域内の消費の増加を図る。		
実施内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から積極的な広報及び多目的ルームを活用した自主事業も中止となった。		
事業費	246,606 千円		
	指標	令和2年度末実績値	令和2年度目標値 (令和元年度目標値)
本事業におけるKPI	民間消費額（地域内ベース）※事業開始前 1,464 億円	RESAS による数値 数値不明	1,850 億円 (R 元：1,800 億円)
	温泉施設収支額 ※事業開始前△1,470 万円	△23,941,077 円	360 万円 (R 元：240 万円)
	市外からの休日の滞在人口※事業開始前 82,000 人	RESAS による数値 データ入替により数値 変更	86,000 人 (R 元：85,050 人)
課題	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から時短営業や休館を余儀なくされ、来館者の激減となった。当該感染症が収束し通常営業に戻った際に来場者がどの程度戻ってくるかが課題となる。</p> <p>また、平成29年度に大規模改修工事を実施しているが、当該改修箇所以外の老朽化が進行しているため、将来的に修繕に係る費用の発生が見込まれる。</p>		
令和3年度事業予定	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から時短営業や休館を余儀なくされ、来館者の激減となった。当該感染症が収束し通常営業に戻った際は3密を避ける等の対策を講じながら営業を行う。</p> <p>その際は季節を感じることができるイベント風呂の実施、プールで行う水中ウォーキングなどの自主事業を実施することで来館者の増加を目指す。</p> <p>また、施設の管理については、計画的に修繕を行えるよう中長期的な修繕計画を検討していく。</p>		
外部有識者からの評価	地方創生への効果の有無	有	無

意見	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の利用が少ないように拝察する。市民も一緒になって盛り上げていくため、機運醸成が必要と考える。 ・過去の実績を見ていると8月及び1月の入場者数が多いので、その時期に合わせたイベントを実施すると良いと考える。 ・自治会員カードを利用できるが、ドリンク1杯でなく利用料金の割引などがあると良い。 ・安心安全をPRしないと人が離れていってしまうため、事業継続をするための新型コロナウイルス感染防止対策について、もっと広報していくべきだと考える。 ・ワーケーション（リゾート地や地方など普段の職場とは異なる場所で働きながら、休暇取得等を行う仕組み）等発想の転換が必要と考える。 ・体操教室やバスツアー等を実施し、最後に温泉に入る事業を提案されたらどうか。 ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴うステイホームの影響で高齢者のフレイル予防について指摘が増えてきたため、福祉部門と連携した事業ができると今までとは異なる温泉の活用ができると考える。 ・プール利用の際は、水着や水中帽の着用が必要であると聞いており、初めて来た方等は用意していないため、入れないことが想定される。そのため、例えば水着のみの着用とし、利用しやすくするとか貸切りで貸出しをするなど新しい取組があると良い。 ・行政と市民が一体となって応援していくような取組が必要であると考える。 ・現状、赤字となっているため、例えば、キャンプ場とするなど地域を盛り上げ、黒字とできるような取組を交付金に申請いただきたい。 ・市単独で運営は難しいと思うので、民間のアイデアやリソースを活用できるような制度設計を検討いただきたい。 ・SNSなどお金をかけない方法の活用や他部署との連携の必要性を感じた。 ・燃料に間伐材の利用なども検討いただきたい。 ・課題もあるが、全国的に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光目的の事業は利用人数等が大幅に減少していると思う。そんな状況でも実施できる水中ウォーキング等で利用者の健康増進などプラスの面もあると考える。
----	--

●K P I の補足指標

指標	H28 年度 実績	H29 年度 実績	H30 年度 実績	R 元年度 実績	R2 年度 実績	R2 年度目標
温泉施設来場者数 (市外から)	190,608 人 (115,419 人)	6,208 人 (3,873 人)	158,958 人 (102,220 人)	155,744 (107,375 人)	68,139 人 (45,303 人)	200,000 人 (120,000 人)
市外からの休日の 滞在人口 <small>※現 RESAS データより</small>	17,321 人	17,188 人	16,951 人	16,445 人	11,553 人	18,604 人

